後八百物語

全

600
187

門 曾 A
號 60
卷 187

後世昔物語自序

南野英才古を好むの余暇を以て近世の俗語を集め今世の
[illegible]の稿を[illegible]の[illegible]表紙の
[illegible]本の[illegible]ひ古記録物の[illegible]所[illegible]を
[illegible]集めて[illegible]ある日行人のあつめ置るを
宝暦中の戯作の後下[illegible]画を新[illegible]第[illegible]
[illegible]を[illegible]年中[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

享和三年癸亥九月廿五日平澤常富六十九歳
享保二十年乙卯
庄三月廿一日生 於虎耳山庄[illegible]誌

○八つなる年の[illegible]
[illegible]
小大小小大大大大とゝ九月より皆大の月より四月閏月
[illegible]千年の大少は岐丹後寺京所司晋牧野備後の
有偏大辺偏小とかはるきとひなる人のいひを見るに
[illegible]大小小ぬきとゝ[illegible]見るもをそ
本新大水の後三年の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

安保二年戌
[illegible]
土岐丹後庄所司代
牧野備後庄所司代

あまくるめ上のお茶屋のみ松ばかりなる
海ばかりにて[illegible]忘れ[illegible]かくすり流れを人をつるのつき
ふね流れゆくうで流れて人の声いつかをひろせて
流れよるの伊勢と言つゝ今は昔の第の草
第三番がむろと大きと足えゝけ唄もゝ
うとと足ゆするも元文中の[illegible]
寛政廣治大度流れ　宝暦元年秋狩ゝよ
流れゝ通ゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一京都ゝ[illegible]楓口初ハ伝[illegible]
文[illegible]楓江ゝ[illegible]
楓江ゝ[illegible]

○ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

てゝ[illegible]の一向のさうもつ[illegible]

○大文字屋の[illegible]

と云[illegible]三国稲荷屋敷も[illegible]

[illegible]屋敷より[illegible]大夫こゝ[illegible]

つゞく[illegible]より十二[illegible]

とゝ[illegible]出[illegible]

[illegible]

十二枇杷[illegible]

千名従角志の[illegible]

志の郷[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃至ゑりのふかい海きくの葉の中四に抱て拍子かの後ハ丁
ふまゝ振紅葉の伊達の御ぶて一番なるて拍子の思ふ物そも繁もたんれ
右一ぢゝ京河三を連れ上ろひか。あるゝ大田や伝のやハ
○我父の友る尖保薄也と云老人ゝこれも乙卯の生れ年弟ハ六十と
上ふて十年ゝ十三の年ゝこゝ老人の出をゝるゝ出れ今面白と
ゝ祖の出も元行ゝ出ゝ出ゝて先ゝ出ゝ定ゝ出ゝ海陽記
ゝ出ゝ出ゝ出

中〻の数多く小紙多く十紙あり
地とのりうれてもり紙の仕様の数多くもひきかへ九帳とのり
仕様と紙質文花ゑ丁お話ありれとる毎ふ多くやうとろん
ゆれ帳より別除る士八ゆ除法うえてる男と鼎えて先も元れ方
れ使紙より新花〻力を貴せもと仕様へ出ます多仕様
見てかとく現法もうう紙ゑ五町もの厚
りをうるうう仕様へ仕様ゆうえうう
新づくるまず起やれ前法りでうう様〻れ仕様寝れぬまる
つくと宿のそ長〻あ手もれい高思なるもも数とるう
手〻つれう仕様〻のうんが様紙うるれ〻きてうがまれ

紙数ゆゑの小うさ指紙るうゆ多みえ紙の代まう〻ゆう
指人手月中より送りしより紙まま〻又もせん人ふ文花が
宝玉ゆ　と云又白く二枚五ものの中紙指八仕様まやり
義新ゆえ代ゆ〻ゆ〻かるまて〻えて〻やす新紙の紙文が
紙〻の数の下より世ゆ二枚五白の小紙〻と〻ゆ〻と云ゆ
ゆうゆう小紙〻ゆ〻ゆ数箱もゆ〻ゆうゆいるるゆゆや
○京十三四五の比夏〻一夜京中あ〻所〻ゆ河の一のゆ長の
小側より新〻紙代〻ゆ〻紙〻ゆ又忘れの懐ゆの所
点のあるより京中紙るゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ
下ゆ〻ゆ十少年の時ゆ中ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ〻ゆ

[illegible]天井ハ一枚紙を[illegible]
[illegible]二十年[illegible]
[illegible]の天井[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

○彼萍也と云陽炎の[illegible]たこと[illegible]

大分のことたたこと[illegible]の比は和られ戦国とそ白く[illegible]

[illegible]ことと如[illegible]とくの[illegible]これをあてこと[illegible]

[illegible]の比は[illegible]

[illegible]今の[illegible]後より[illegible]

[illegible]永十四年の比之変斗[illegible]と斗を計の[illegible]

[illegible]ぞくけいあんといいしぞとあん之唱[illegible]

[illegible]年の[illegible]年[illegible]今の[illegible]

の[illegible]変斗の[illegible]

今も所田[illegible]

[illegible]

○永十六年の比生[illegible]又[illegible]と[illegible]井川又[illegible]と改

[illegible]万を又[illegible]と改むそれを[illegible]苗字を再[illegible]改[illegible]

[illegible]の比は[illegible]川金[illegible]

[illegible]川[illegible]と云[illegible]の中[illegible]結[illegible]

元[illegible]市川[illegible]

後市川[illegible]

[illegible]人[illegible]の[illegible]

彼は[illegible]の中[illegible]

後廟の御名竹の字を傍に添中と改如元服元服の名人を沢村宗十郎と云
改又四郎兵衛と云一説宗十郎と云一説沢村春之丞
あと名人宗十郎師の名長十郎み改て春之丞宗十郎なりしが
世を去て長十郎と云説沢村宗十郎長十郎と云説
宗十郎長十郎まが明る名人沢村長十郎後
沢村長十郎まが長十郎と云る世人沢村長十郎後
去て名を改名と改る
○延享二丑の三月の中旬より芝居市村座にて
下り中村富十郎と芸尽
大根清の初演と評判ごと

市の横の妻菊水の浮世大名部八女楠と云ひ盛とあるを
立て名数を時中村座にて荒木六初りて
芸尽一くて評判より紀伊国屋文七
あるいは上るとあるを
又也如何と云説沢村宗十郎の上へ対ものもて
と云の説一小六名称
掛まふ絵
市座の角に掛の新を画きて新あて
丹もと云説同じ二枚の絵
芸者に成て御新名の初りて時に成大当と行て家の
汁と三枚板東下りに遣ありき小六の地名帽子の

紅とるの汁をそそぐ　すゝぐ　[illegible]
國村文角政信　弦　[illegible]
[illegible]の墨絵　小六原　千時　[illegible]
[illegible]　[illegible]　小六原
千度[illegible]を小六原と云[illegible]
年[illegible]　小六と中村七[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]十四五の時分に伊豆義の氏[illegible]とするものの[illegible]の字訂
[illegible]かくて[illegible]大[illegible]屋を[illegible]
[illegible]果て[illegible]二[illegible]
[illegible]
[illegible]町[illegible]
[illegible]
[illegible]

○さいはいをうつるみ[illegible]れとうやうの欲はそもそも[illegible]
川をひ[illegible]て[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
下でつるひ出るとも今は古風とうけうの事は一人[illegible]
るとん先つるれるとこ又さいをうつを五人うち七人とうろひ仕事て
当あり短き[illegible]れるを昔のさいはいをつひはいひう
これも今はずんぶん[illegible]
さらでうつと当世やうの[illegible]とは[illegible]
ヤスとうやうるをいひ[illegible]
○今も猪[illegible]唄[illegible]
幕[illegible]

今の新あんまとこ奴の猪[illegible]
我も[illegible]
とうあて

嬉しい側いと[illegible]
[illegible]
[illegible]

馬琴云催馬乗の
老荒とうたふ
あり又今も三遠の
やうに法師の荒荒
とうたふさまにて
多くこれ唱ふる
荒のうたふは
催馬乗の
老荒を擬して
作なるべし唱ふ
荒のさまなどは仙
うり さてはこれ
なるべしあれ
荒とひとしく
きこえ荒の節
よりひきやこれ
の節にて八月
は八月相よりて
はあれども
これなどの明ふや

いと法師の舞ぶや祝ふいざ舞ふよ拍子を拍へて物る
乱曲を舞ふよ踏むよ踏むぞ踏むよ踏むと思へどきよひんかと思へど
思へどきよひん伊達る姿を三河の民のお民の踏きる
三男をそなへて言へどこの八月物よ八月物よを拍てきよ
ひんひんすれ中間のひひひひひひひひひひひひひひひひ
とうきよ世うれめ
詮もなしなし

むかしよりもてはやされて立保比とよへ八今の人よりもん
ぞ思ふ思ひ出の松の内を行くに花もなく只みるの
うちあてまふ淨瑠璃かうるを百日とも半年とも続くるといふ

見物かなくゆきて居れてこれかくあるとも炎とこの
淨瑠璃もさぞ拍子にて下駄もさぞうるさうて十年よ炎をこえて
世とのうつり変遷よ立て夜の砧を写す市松をとる市松の拍子
なりうもいとこれと今かるまうるるとこれてこれるこれ物の
ふるる初めてくて行くの出ぬお手廻りのるあれもこれも近
年八月の近居せぬ手とあるやこれもうれてはり
出るるるる行くの出るるるを物をなすこれ物これ切れ世こそ
ゆうやゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
拍子本をもおすべ方の拍子も如形のすげの元も只元西内より其
行くをくくく

三度もつゞける人はなく二度より張れぬれば大中りとなる物なれば
三十日とてつゞき十日もとれば設をもひらきまうけ
年回の物をとゝのへるとゝのへハ人のもてなす
ものあれば酒肴の土地の隙なる場所もなかを建て仮
うたれば人は物あくまるもの人ハ多くれども食に
人をくるかくるるや一面の切落しあり土間桟敷
いとはるゝ縄張をなすの方ハ許をもうけて桟敷の
ハ二百銭ありとうたるを今は銭四倍也
ものあるを知る仮桟敷の人数ともも今のやうに
なるはしとゝえたり恐くは芝居を初め春は芝倍一人の楽

青楊ハ芝居
なり衰るを
なるべし太夫とも
ものかたりなり
今ハ七年五月の
世の絵ごとく
且兵庫の月
岡はるかのなれ
ほひ屋名数
あるも世をそ
こなひなるべ
なるとなり
なるべる芝居ハ
今ハ北山に
なるる人なし
間の札ばかり
ハ天の札残る
三倍に桟敷
代も五倍なるべ
ばかりとなり
いとゞなるや

数もなりて芝居もなるやうになる人なるとなるべきなり芝の春
物なるを三月二日初日なれハ見物なるべ今なるべハいなる人ハ二日より
見るなるべあるもあるもあるなる桟も又四しきれと芝居なるべハ
衰なるとなるべ三倍まと大者なるべ物の上なるなるなるハ芝居
倍なるべ
芝人新も宝暦の比なりと云へ京桟中桟なる人なるなるなるなり
居不の桟なるなり芝人新なるいなるなるなるなるなるなるなる
なるなるハ婦人新音なるハ九き桟の古居人撃の居を
なるなるいなるもかなるねる餘のなるなる新のなるなるなるなるなる
数日遣なる古遣人今なるなるなるなるなる傀儡師なる坊なる

地代賃本銭のうち荷物[illegible]
あり[illegible]

○元和年より礼年[illegible]考[illegible]設[illegible]人の[illegible]
[illegible]昔は上[illegible]人[illegible]
物の今[illegible]微細[illegible]利[illegible]
[illegible]昔[illegible]素人[illegible]
[illegible]惜[illegible]
今の人[illegible]
[illegible]素人[illegible]
[illegible]近年[illegible]風[illegible]
年元文[illegible]風[illegible]

[illegible]
遠[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

○我十年計とて[illegible]

[illegible]

[illegible]

○さて〻昔はせうふてうてう・すべて何の物にもさて〻せうぬをしふてうのまへ
今は鉄砲ふの山猟も取実の名ハ鬼ケイヤ人ウエ、小林の鉄砲
どもさこ大薩ケ丁ろくさるも暑くれば昔代兵弁財面のせうふ
のうち碧ハ生武のせうふるく〻てはるゞ昔ハせうぬるくいひ今ハ
ムく常のこゝをせうぬ生武とこゝくせうふとかつくはとうこゝれん
中貴ウ貴ろまた今もこゝくのせうぬハ百武せうふやをいたら
ねとこゝくはうるれこゝ所をうれ引るふ財ふ人今ハぬこ一番あの
大法とふ幕歌ムもも本和云ものも芝浦強く短く賑った
ものるゝ草まこゝ花もこれあんあるこゝ会ハぬ所いろくあるこゝ昔ものこ
ものこ面白ろくる物遊何江ゞ所面もも伊藤王寄ぬ伊藤十おを

嘆くこゝもこゝ古今の人氣ものゞ一今のこゝ見い昔の人ハ今の
山見のかくこゝもいふも可ふんこれもあるいふ所飛も義もるこれかの
手海物理を一服かるくせてあるこゝ今の人の取るこゝ
○京坂の人こゝ食ハ物ふるこゝ知すくるゞこゝみるる人今江戸
ふのくこゝ物ふこゝこゝ所もあれこゝ又江戸ふの及ぬるも
ふくこゝ物の遊ケ江ハ足ふ京坂ハ足遊十年あるこゝ
京ふ登るこゝ又こゝる帯のこゝの世ものかいのもこれ江ふ
むくこゝ一ふこゝの伊ふこゝ主人とこゝ女の姿こゝ
芝浦同ゞこゝ所ふ所ハこゝのみ行ふこゝこゝたゞゞ
芝浦隠ふこゝ町家のかい被をこゝる屋もこゝ浦芝の稲ふ

[illegible]ものを[illegible]山下[illegible]男[illegible]より初め[illegible]所の
物[illegible]初儀[illegible]ものと[illegible]ものを[illegible]
[illegible]ものと[illegible]の正[illegible]丈四[illegible]人[illegible]煙草の
火を[illegible]ものを[illegible]ものを一[illegible]ひ[illegible]てさ[illegible]人[illegible]火を
[illegible]ものさ[illegible]ものも[illegible]ものを[illegible]
[illegible]と全体の[illegible]ものを一[illegible]も人[illegible]損[illegible]
[illegible]ものと[illegible]ものを[illegible]一三[illegible]
[illegible]人[illegible]ものも速[illegible]
事[illegible]百[illegible]
[illegible]の人[illegible]

事[illegible]ものを[illegible]
一[illegible]の気[illegible]の会[illegible]京の[illegible]の儀[illegible]風講[illegible]
[illegible]人[illegible]風を[illegible]人[illegible]
[illegible]の一[illegible]或[illegible]
[illegible]風を[illegible]人[illegible]風講[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]人

合天井ハ梧天井の誤なり

及ハ姫有〉

[illegible]

方は三尺八寸の格子のひらきなりの中ニ又[illegible]人居[illegible]
奥へもくろろ奥は絞もるの足袋[illegible]の[illegible]れん掛[illegible]そこ人世の西面
さるるに六七さるの足元巴の紋を家のあるこ[illegible]掛直うち[illegible]
ケ[illegible]古瓜るる人世と[illegible]り苔[illegible]を吟味のあ[illegible]足世の[illegible]
中の所の茶屋の二階も初焼[illegible]あるこい無[illegible]よく掛[illegible]所の茶屋ハ
八人の中の所の女中屋の如く二階とり拵ひ欄干ハ障子と内へ
とり吉原大全[illegible]ハ[illegible]二階を[illegible]掛[illegible]掛[illegible]所の茶屋の
[illegible]中ノ所の茶屋ハ[illegible]掛[illegible]
掛屋といふ[illegible]掛屋所[illegible]衰へ中の所ハ[illegible]
足元より[illegible]二階の拵[illegible]貫[illegible]長短[illegible]

馬琴云太申ハ三十間堀ノ材木問屋ニテ和泉屋甚介ト云シモノゝコヽニ記サル、如く専屋名ヲ好テ殿金ヲ失シモノゝ多鳥名ニ十字文ヲカセ太申ガ書ル所トイフワリ墨本ニ板行シレリ

蔓くさ多く敷き地形高く一面に押へ植く所々を
なく其つけ七押の中に梅ある寫すもの今に皆ある者
仲の七地ある行く右の如く仲ある人々の稱ある名ある
右の豊里の北の方に材木屋居宅高八十堀表徳太申と云ある
あり豪家とて太申の名を弘めあり仲あり太申深と云
を仲る太田太田の仲の深く四角の方里に別深く仲形を方里
是も一枚絵も方里の仲深の中袖を立てる一少をかもく半春信
芝居ある中村仲ある衣裳ある深く仲ある度急死
神ヨ系統せた爺と曉ある人形のうちに鬼ふる立る黄色人
出る鬼の褌虎の皮の褌を太申深ある立てこれも多くなる

賣セ仲ルコト有、其法帖今稀ニ散在又又雑話ノ集評ヲ仲ル二五点ノ所八五文限十点八十文十五点八金一分書又キ八小判一枚張ツケテ出セリイフ又浅草寺の山八野ノ梅ヲ植芝居ヘタノミテ太申梅トイフ浄瑠理ニ作ラセ又道中雲介ニ金ヲトラセ所江戸ナ太申ナマハ梅ガオスキトウタハセ又或

又西平西福寺の和尚のうちに撫る方歌ある撫面
る太申の二字を漆ある方寄を上て常ある仲名を
梅ある方もうし太申深ある世上ある廣ある
此ある人と方く違ある太申深を人せるいる長ふや
のる代を知るぞいる形と向ヨ太申ケ仲の形ことく方る
人する代ある仲ある深中ひとる人ある方ぞいる
谷ハ弘ある方れとる廉ある人のあるのある引りれで
かるむぶとるもある方ある方ある方ある人ある方ある
臭仲名ある方ある方ある方ある方ある方ある方ある方ある
とても金ある方ある方ある方ある方ある方ある方ある方ある

医師ニ扶持米ヲ与表札ヘ太申内何某ト書セタリ。シカルニ件ノ医師太申内ノ三字ヲ篆字ニテ書ク。トカヤ又萱場町ノ薬師額ヲ奉納セシコトモアリ如斯看板ヲ好ガ今ハ太申ヲ知モノナシ彼亀戸の鬼ノ像モ近曽修覆ノトキ褌ヲ虎ノ皮ニシタルハイヨイヨ知ラスナリヌ

○さらえの稲荷 本所二十三箇

宝暦六七の比なるへし風岡先生の會日なりしを初て行り汐留御

の名を乱先生の門人なりしの男が別る甲子屋と申茶屋の田舎ハ

ずしとやうしなど先生の語りしとなりけり千住大橋無茶苦茶まて

橋の婦人をいざなひ行人をうたがひ向島の桜ふい今信仰

場町ノ薬師額ヲ奉納セシコトモアリ如斯看板ヲ好ガ今ハ太申ヲ知モノナシ彼亀戸の鬼ノ像モ近曽修覆ノトキ褌ヲ虎ノ皮ニシタルハイヨイヨ知ラスナリヌ

○風岡先生の人名日記 立秋の若葉 入門をかれい巴屋 浄瑠璃 こなど呼くものの先あるは祝ひ町の巴屋と巴屋沒落の後よ

屋川口屋玉やい稲や仙石やきりや八田やいろは無昌り

仙侍の点者と為宗梅上云度浄瑠璃雪堂ちれ之点者ちなる

ある逸志ちなりて楽ぶ方句の附句と七八ちるを以可因ら気象ハ

云仮花万句の日も病ま祝ちくちの席ま出ち此ハ秋ちけれ祝て

句ちる蔓句ま ちみ上る万句の声や 蟷虫とちを男七八をあて

徳虫とちちるれ世話ちる人ちあ〜かて俄ま代句て

ち句ハ宗梅ま八人せちち〜ちん可因ら俠骨ちち〜作り

○ちを色なま出ちことと以俳ハ秀ちるはくきれちと新ま作

あちの作品のはれちく山女鯛 行りあちくれれち 老女ハ一人 六七

軍の小女と事に加藤ま作しあり ちちりく 四〜ハ此ハ女ハ父母ち

かれく 永ち に 貴作ち ちふ かちちちあんちふれ 沒ちれ

行んとすれどもあるべきやうもなし山の奥のかるかやのうもれ死の
狼の餌食もうらんなれてなきかなしみ命をたすけ給へと
とゝ女房歌ひ〳〵金二分と老女あるべきなれども老女も受けとるべん
れ後ろ世やの岩ゝとて金四の君とうるといふ友をとゝ
るやのけうの虚実をもしれ同藩の大山氏るまれけ山ゝ
けうの夏れ此りしろ蜂のおまり光をあるとうのせるの
ずをのうゝ暑しやと同の大山見ゝと答ふて付るの茶うんを
おゝ蜂と入るのくさうるるとするとこるゝなれ
一口のうゝ大山が蜂るる茶は向ゝふつと物を仰けうゝ歌り
髪様のあうまゝ蜂れなれて起る岩ゝ仰ゝて

春のうゝ涼しうんと云ゝうゝれ女の元貫あるんけ一流を
ずゝもあるんべきゝ

○元れを遠ゝあゝとあゝ扇るる岩ゝいふ低俳ありけまり
七ゝ一の越のうゝあれるいゝゝるひゝいふのある四ゝるゝ文盲ゝ笑ゝ
うゝ一ゝ河がんの山ゝすゝうゝ名ゝ近ゝもて見ひゝう言
ゝうねゝれれ歌ゝ遠ひるんあゝゝた御所ゝ手ゝるる四ゝ
名ゝ手ゝよゝ法ゝ初ゝ元ゝ作ありけ女琴ゝよゝ弾ゝるれて
琴花の名ゝうゝ見ひゝうゝ岩ゝみゝ山ゝゝんゝ名ゝけゝとゝるる
あゝき巴ゝの岩ゝ元ゝも琴ゝよゝ弾ゝ初ゝ歌ゝ名ゝ分ゝるゝ山も
るゝうけゝる岩ゝやゝるゝんゝ山ゝゝゝ川ゝるゝゝとゝのゝとゝひ

なぶりくるる所をあらくとぞ[illegible]うの作ぐ系をあちぐ系のあれあさ
あれども[illegible]の系くとぞいハれ[illegible]角かれめ和田系とあハ和田の系
とぞいふを紀年代ハ和田ゲ系と以下のゲ関系もゲの関係をも
ゲといひるゲ和田ゲ系なりと平安ハ五代条錢筆和田の系と
ハ見ても異なるとこれ[illegible]ハ限ぐぞ角かれめ名、俗傳の名誤伝
とこれ和田のあらまり和田ゲ系といつぐ作ゲ笑ゲ[illegible]ハ
評論もこゝぞ機ふ[illegible]のウみと逆りしるもとーさんもけん
ぐるもゲ[illegible]を俗傳のむつきるもとー

○我若紀比すみ所の和泉や二条ゲ[illegible]小路通りの西[illegible]
ゲ和年とゲ人ゲあゲ紀年のゲ文ゲまゲ結つゲ[illegible]

を字のゲ[illegible]ぬゲ[illegible]文字を入ゲ利通る屋中ゲ[illegible]を
結ゲ[illegible]ゲ[illegible]ゲ[illegible]ゲ[illegible]きゲぐとゲ[illegible]ゲ又路通の
ゲ出ゲこれて和泉きとゲ[illegible]ひ光をゲ[illegible]ゲ[illegible]ゲ和泉川
とゲ[illegible]ゲの[illegible]ゲいゲ川ゲ[illegible]ゲきゲとゲ[illegible]ゲるゲをいづと渭ゲ[illegible]
ゲ

○ゲ系の女蔵ゲ[illegible]ゲ扇や[illegible]ゲ[illegible]ゲ作ゲ[illegible]ゲ扇屋
一人ゲ[illegible]ゲ宝暦十二年の紀ゲ[illegible]ゲ[illegible]ゲ[illegible]ゲ[illegible]

ありき、新町の相ひらけやうよりあとにてきたりたるいうち
帯かく廓は並ひ居る芸妓のみにて仮屋なり
かくこと体なれとも[illegible]ちかく新造と称体線
なる新造を揚屋にかくひもとるもあり是世話なる
をうけひく三体線をひけたり二れいもけりのるかまい
あくまで芸妓をかねるなりと芸ゆ[illegible]人町二ありあり
る一二ヲめいけるもうしし中も角なる[illegible]少
なれとも[illegible]の中ほどなる世話ぶく琴をひけ二三人三絃をく
奏するもあるなり

○我十二の時なりしかは市村死去ありし後の物語なりとて芸妓
[illegible]

○浅草辰巳浅草古名中瀧之甫左天幸記
助左今為宗 梅若丸形の時あくまで山椒
伏見の管領三十三年忌なるとなる仕合の大なるあり
る土地なり伏村死十郎死去大谷新左衛門
後中村氏二代目市村竹十郎
なる者曲動伝八人の抜本又九郎
外くに強をなる三れをうぐ外れての大管領なるやうなる
の平氏方と道れんなる菖蒲新田なるなる
中くそつらくなるなる七れを三下なるなるひ舟のせて中川
の[illegible]を[illegible]先は幕[illegible]形氏の新音八[illegible]実の中男人[illegible]
十四[illegible]末九十[illegible]の物を改く中をんとなるを梅若いお花と

[illegible]刀[illegible]幕[illegible]を[illegible]人[illegible]きるに[illegible]より血流れ生る
[illegible]上[illegible]生[illegible]るに[illegible]おかをあ[illegible]ば為[illegible]生るとい[illegible]和[illegible]中川と
あ[illegible]いるに[illegible]で幕[illegible]きを[illegible]中[illegible]れといふ[illegible]行不拭全く
中川を擬[illegible]るし今[illegible]れ[illegible]を[illegible]水[illegible]を和[illegible]
千[illegible]の和[illegible]るに[illegible]和[illegible]伊[illegible]で[illegible]玉大谷[illegible]後[illegible]十町[illegible]さつ
玉[illegible]生[illegible]千[illegible]生[illegible]の[illegible]研[illegible]の[illegible]
生[illegible]の[illegible]るべ[illegible]幕[illegible]あ[illegible]口上人[illegible]生[illegible]東西[illegible]研[illegible]
の[illegible]ご[illegible]ち[illegible]ち[illegible]ち

[illegible]を馬屋にてとらせのものゝ男の姿をしてゐると口上とのゝ先

○幕内の[illegible]より出てゝ口上人ゝ只没割を手にもつて

[illegible]和平口上とよびて人ゝ[illegible]口上人ゝ只没割を手にもつて

口上を用ひられ[illegible]まとめ[illegible]入る[illegible]彼今

の人ゝ面ばかりにて[illegible]幕を[illegible]

[illegible]

中村市村[illegible]の口上より新仁ハ上[illegible]

[illegible]平[illegible]平市村[illegible]の新仁[illegible]

[illegible]

嫩前[illegible]

馬屋ニ云今ハ[illegible]

[illegible]の口上より[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右[illegible]数[illegible]

[illegible]

桜江雅貞

月成

右月成の[illegible]の隨筆[illegible]を桜江の柳川藩御城使平西原氏号桜江借物[illegible]件乃月成の[illegible]平澤氏俗字[illegible]平角[illegible]秋田模の御城使をつとめ[illegible]致仕[illegible]二人文[illegible]の才[illegible]と[illegible]記[illegible]も戯作の才[illegible]秀[illegible]書[illegible]の末[illegible]しよ[illegible]遊[illegible]をつくして喜三二と号し安永より天明のそのあたりを至てろのゑ世[illegible]噂[illegible]る故あり[illegible]戯作の[illegible]を作[illegible]喜三二の[illegible]考葉亭[illegible]

[illegible]又物[illegible]を[illegible]浅黄裏成[illegible]月成の別[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]の噂[illegible]

[illegible]
又往時[illegible]一[illegible]
又[illegible]
[illegible]
[illegible]
文化八年辛未三月盡　　曲亭陳人

おらく物語

[illegible]年に吉原におらくとゝの義者[illegible]屋又新[illegible]
者[illegible]
[illegible]
黒楽と云新おらく八赤[illegible]赤[illegible]
云[illegible]
[illegible]
何[illegible]
名改[illegible]
[illegible]新おらく改[illegible]

月成戯述

オ初めまらく春樂の矢名を矢に居るゆえ月
方の子更ちく今吉とる行り第一ある人てそこの元
を出じく今高くとそ中ちゆ名を古おらく始て
落るゆるぞちく上るが今吉と名をつくるハ
今のらく吉花出づるすを茶人今吉くとゆそ
るをそぶ先く矢元れまあそつけるる仕方ことそ殘
今るおひ今吉花出ちゆるハ何らゆぞと
人よひ元れぞ正の名ハ元祖長氏命のんちく一入
宗入茶入長入るぞくされど今吉の上をゆ名るれ
ぞとく一入とゆ義ちゆ中あるゆぞお一と外ち一入

のゆもゆえびとゆ見をゆみぞ今吉ゆむひらよ
ゆく今吉とゆ名ゆ出吉とらよ義ち者ゆ万遠ゆそて
見番ゆく沈花ゆとろ一又名をつくく者のおのな
名ちくのを沈ゆらくいゆ名今吉ハ元義所
るゆ花ゆ出ゆ樂ぞ悪ゆ八合点ゆ名ゆられる
ようけく付ゆそくゆ元ゆ万遠ゆく為の新の見
名をちくべくく名を者ちり茶ゆある客
又ゆ名をちくぞりくおのんと名をちくのんちく
とゆぞちゆ行ちおのんをゆ出ゆ者ゆ出ゆ元ゆ成ゆ
ゆゆちりく和ちゆゆけるゆ名ゆ名ゆのんま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

評云 客も陸羽のいそぐ者
李達を関羽をいとゝみ
なりけり

なぐさまんとて茶をいとなみ千
宗と名をたゞす茶湯代々の内の名人の名まうする
ものあるやうなれども上を絶て茶の人をあつかひ
ものがり千の利休は茶道の中興の祖なれば代々
いとゞ千家流なるものなれども千と改 俳諧を
たゞ一人俳名をとゞめし人なり俳名は李達羽と三字よ
ばれし李達は水滸伝第一の豪傑人羽は関羽の羽
なり三国志第一の忠義人なればなづけたるなり
千名を千とひ俳名を李達羽とつゞめ千の利休
なり茶道の高名なる人はなべてかくのごとし

茶一句よ茶のんでそうらいぬるあり和哥を
ゝ今ふ白老人の故人とあるれど川上宗什の弟子
めゝ茶の方なれども市ヶ達羽はなれど茶の名を宗
什より賞ゝ身べゝ名れるなれど俳諧茶の湯の風流
なり客人のひいきもあつくいとゞ好あ好ら
そなるものなれどもあらはれ俳諧より其仇(キサウ)弟子と
なりて俳諧をそだて宗匠なれども
自腹をあつゝあけるの衣類なれど曲をゝ改め宗匠
より名を賞ゝ賞ゝ什
廓中なれどもより者の年をるべしと
収ばなり廓中なれどもおいらぶか千と名をとゝん俳諧をそだて

李逵羽者什ぐるを大馬鹿めと評判をな
れば　いくるるもの　くよくよ変かくよくれ　ここ
先生　いとなれが　体山があってこのやうなるロがかくこと
恢ぐ　中長大なる　乳を　出れば　らたなるものの　ここ
程　凡院人の　扱ひ　ここ　長ものの　長ひ
なるが　おもふと　病を　ひとつ　ひとつ　李逵羽と
　　者ぐ　と　先表　裏急後重（リキウ　コウヂウ）つ
終　ものの　けること　あれ　なる　語